



回復期リハビリテーション病棟協会 介護 5か条

2022年5月

1. 人生観や価値観を尊重した介護を実践しよう

根拠：介護職は、その人の人生の中での教義、素質、体験、生活様式を尊重したケアを提供し、障害を抱えてもQOLの向上や社会復帰を支援し自律を目指す職種であるため。

2. 「できるADL」を日常生活に積極的に取り入れ 「しているADL」に定着させよう

根拠：どの職種よりも多くの日常生活に関わることができ、リハビリで実践する「できるADL」を取り入れ、残存機能を活かし能力の維持、向上を目指せる専門性を持つ職種であるため。

3. 患者・家族の思いや生活の様子を多職種へ発信しよう

根拠：患者の生活に最も関わる職種として患者、家族の思いや考え、生活の様子を発信できる立場であるとともに福祉職として幸せや豊かさに重きを置いた情報も発信できるため。

4. チーム目標に沿った介護過程を展開しよう

根拠：患者のニーズや生活の課題を分析し根拠のある介護を実践できる専門性を持ち、介護過程の展開においてもチームの目標に沿って実践しているため。

5. 身体的、精神的に負担の少ない、継続可能な介護指導を実践しよう

根拠：在宅生活を想定した介護方法の提案や技術を伝えることができ、今後の生活の不安や見通しに対するアドバイスも行うことができる専門職であるため。